

2024 年

地域包括ケア「見える化」システムによる新富町の介護保険事業の状況

地域包括ケア「見える化」システムで公表されているデータを活用して、新富町の介護保険事業の現状を全国・宮崎県・県内市町村と比較し、新富町の現状と課題の分析を行いました。

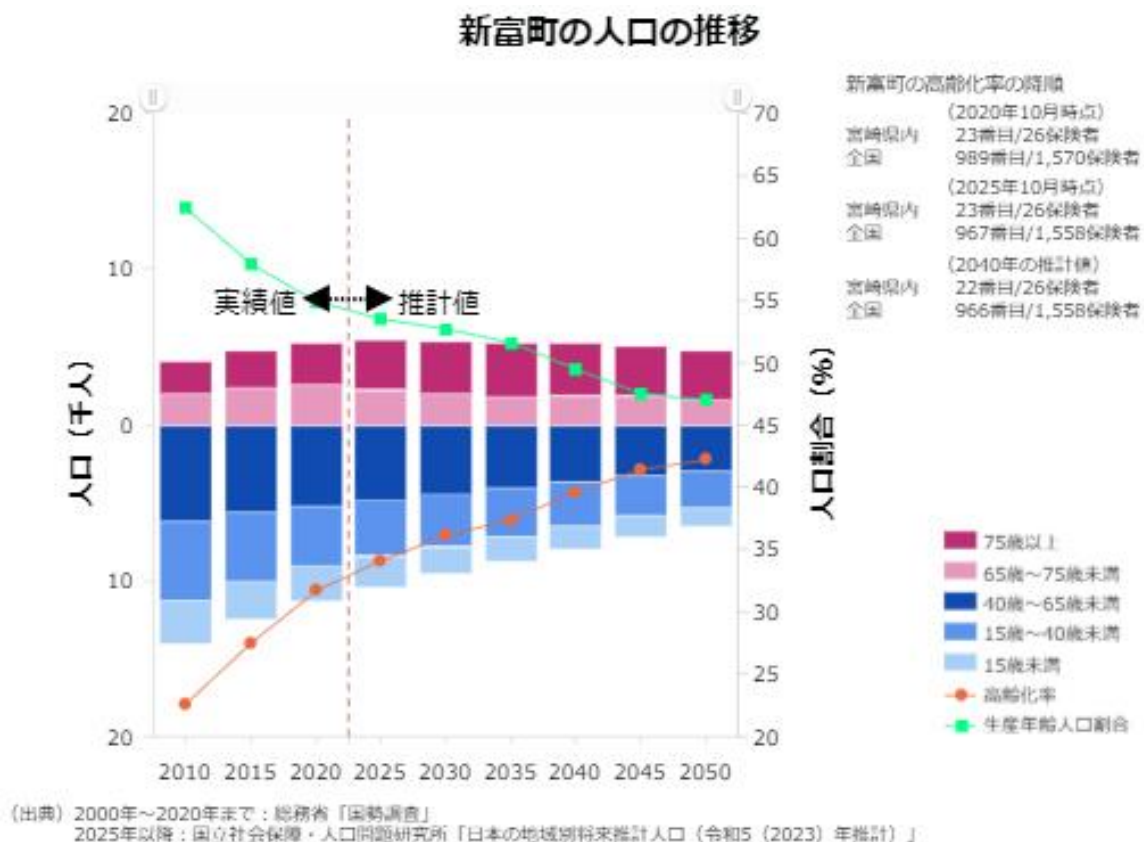
<地域包括ケア「見える化」システムとは>

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムで、厚生労働省が運営しています。

介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報がこのシステムに一元化され、グラフ等を用いた見やすい形で提唱されています。

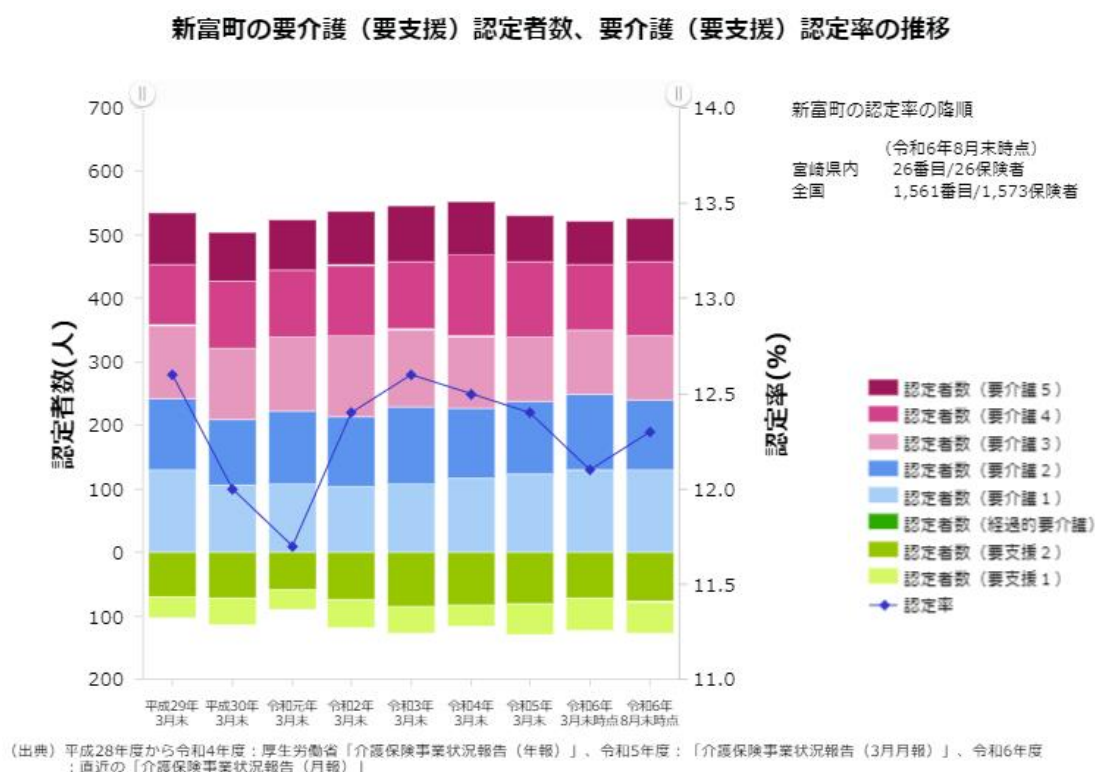
1. 人口の推移

新富町の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、2035 年に 13,980 人、2045 年に 12,173 人になると推計されています。また、高齢化率は今後も上昇を続け、65 歳以上の人口は減少となる見込みです。

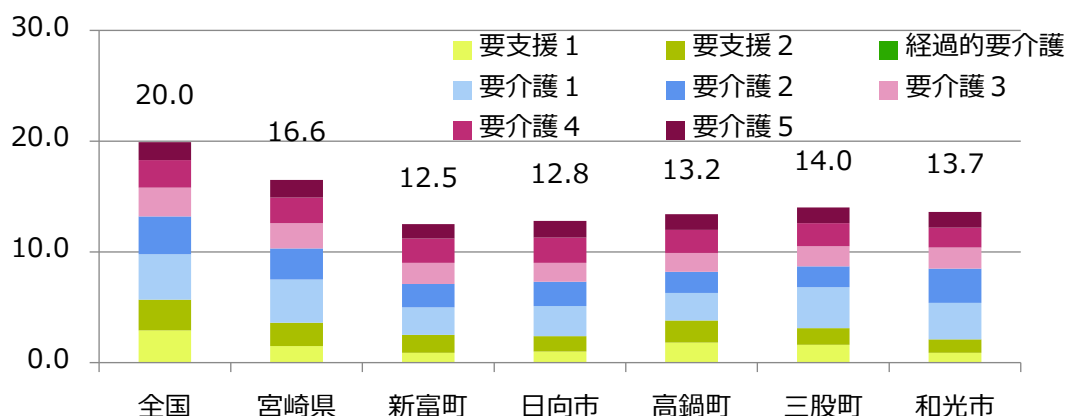


2. 要介護(要支援)認定者数、要介護(要支援)認定率の推移

新富町の要介護(要支援)認定者数は介護1の方が最も多く、過去3年間の間では認定者数はほぼ変わりなく推移しています。また、要介護(要支援)認定率は、12.3%と県内で一番低く、全国と比較しても低い方から12番目となっています。近隣市町村や全国と比べると、要介護認定を受けている人の割合が少ない状況です。



認定率（要介護度別）※第2号被保険者を含む (令和6年(2024年))



(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

3. 第1号被保険者1人あたり給付月額の様態

新富町の第1号被保険者1人あたりの給付月額については、在宅サービスが10,045円、施設及び居住系サービスが9,557円と在宅サービスの方が多くなっています。介護保険サービスを使いながら、在宅での生活をされている方の方が多い状況です。

